

# ヒナゴン (2005)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ ファミリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 121分

初公開日 2005/07/30

公開情報 ビデオプランニング=シネマ・クロッキオ

## 【キャッチコピー】

ヒナゴンが教えてくれたもの。  
それは「信じる」こと…

## 【解説】

1970年代に広島県比婆郡西城町で巻き起こった謎の未確認生物ヒバゴンを巡る騒動をモチーフにした直木賞作家重松清の『いとしのヒナゴン』を映画化。架空の小さな田舎町を舞台に、謎の怪物ヒナゴン騒動に揺れる町の人々の人間模様を、不況や市町村合併問題といったテーマも盛り込みつつ甘酸っぱいタッチで描く。主演は「フィラメント」の井川遥と「半落ち」の伊原剛志。

広島県内のとある小さな田舎町、比奈町。増える一方の累積赤字に、隣町との合併話が浮上し、町は大きく揺れていた。そんな折り町役場では、30年ぶりに謎の怪物ヒナゴンの目撃情報が相次いで寄せられる事態になり、今もヒナゴンの存在を信じる若き町長イッチャンは、「ヒナゴンで町興し」とばかり“類人猿課”の復活を宣言するのだった。そして東京から戻ってきた信子が類人猿課で働き始める。彼女は誰だろう、30年前の第一発見者であるホラ健の孫だった。一方、学校の教室では、子どもたちが未知の生物を思い描くことに四苦八苦していた。

## 【クレジット】

監督 渡邊孝好

製作 安東善博

中本祐昌

川城和実

政友修

三木和史

企画 岡田寧

花村ひろ子

プロデューサー 門田大地

小川勝広

原作 重松清

『いとしのヒナゴン』(文藝春秋刊)

脚本 山田耕大

渡邊孝好

撮影 安田圭

特殊造型 松井裕一

美術 金田克美

衣裳 宮本まさ江

|     |       |                 |                  |
|-----|-------|-----------------|------------------|
| 編集  | 奥原茂   |                 |                  |
| 音楽  | 岩代太郎  |                 |                  |
| 主題歌 | 奥田民生  |                 |                  |
| 照明  | 小野英仁  |                 |                  |
| 録音  | 林大輔   |                 |                  |
| 助監督 | 武正晴   |                 |                  |
| 出演  | 伊原剛志  | Tsuyoshi Ihara  | 五十嵐一郎（イナゴのイッチャン） |
|     | 井川遥   |                 | 石井信子（信子）         |
|     | 上島竜兵  |                 | 吉岡純平（ドベ）         |
|     | 嶋田久作  | Kyusaku Shimada | 南波大助（ナバスケ）       |
|     | 鶴見辰吾  |                 | 橋本勝（カツ）          |
|     | 松岡俊介  |                 | 島本順平（順平）         |
|     | 柳家花緑  |                 | 西野俊彦（西野くん）       |
|     | 馬淵晴子  |                 | 宮本恭子（宮本先生）       |
|     | 佐藤允   |                 | 荒川達吉（荒川さん）       |
|     | 豊原功補  |                 | 片山憲吾（片山市長）       |
|     | 雪村いづみ |                 | 石井絹代（絹代さん）       |
|     | 夏八木勲  |                 | 石井健作（ホラ健）        |

（特別出演）